

ウッドデザイン賞 2015

最優秀賞（農林水産大臣賞）

優秀賞（林野庁長官賞）

奨励賞（審査委員長賞）

最優秀賞（農林水産大臣賞）

ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野

「みんなの材木屋」発 森と暮らしを創る六次産業化モデル

株式会社西栗倉・森の学校

概要

森づくりの時間を届けたい、お客様に日本の森との距離を身近に感じてもらいたいと思い、木材は国産材にこだわっています。森が育つには長い時間がかかります。林業は植えた先人がずっと成長を見守り続けて、50年以上の時間を経てやっと木材として使えるまで大きくなります。

だからこそ、どんなに欠点のある木でも必ず誰かの暮らしに役立つ可能性があることを見つけることを使命としています。森と暮らしの間にいる私たちは1本1本ごと個性のある木と真剣に向き合っています。私たちは材木屋という仕事を通じて、森を育てた人と暮らしつくる人を繋げて、林業という長い時間を笑顔で分かち合えるようなワクワクする“森と暮らしの未来”を目指しています。

みんなの材木屋は暮らしを自分でつくる人のための、国産材にこだわったオンラインショップです。つくるワクワクと、暮らそう。私たちは丁寧に積み重ねていく“つくる暮らし”を通じて暮らしがもっと自由に、もっと豊かにもっと楽しめると考えています。誰でもどこに住んでいても欲しい暮らしを手に入れることができる商品や、暮らし方のアイデアやヒントになる情報を“つくるワクワク”と一緒にお届けしていきます。

<http://zaimoku.me/>

評価ポイント

木材流通を消費者目線によって再構成し、暮らしの中の木づかいを身近にした先進性ある取組である。供給側と消費者とのダイレクトコミュニケーションによって、自分でつくる喜びを提案し、新たな市場を拓く試みにつながっている。半完成品型のプロダクトもわかりやすく、ウッドデザイン賞の趣旨を満たす最も優れた活動として評価した。





建築・空間分野 | 屋内空間 優秀賞(林野庁長官賞)

002

ららぽーと海老名キッズプレイエリア 「ウッドキューブ」

大建工業株式会社、パワープレイス株式会社、三井不動産株式会社

評価ポイント 子ども・子育て層に対する、「木が身近にある暮らし」を、ユニット型木質空間という形で商業施設やイベント等でフレキシブルに活用する社会性ある提案である。造作のデザインも秀逸で、木の良さ、楽しさを実感させ、家庭での木づかいにもつながっていく可能性があり、優秀賞とした。

概要

三井不動産株式会社が新しく手掛けた大型商業施設「ららぽーと海老名」にある、親子が一緒に遊び、国産材の良さを実感できるキッズプレイエリア。ユニット化された家具型木質空間は、同社の保有林である北海道のカラマツ、トドマツ間伐材を使用。施設の通路を木質化し、創造を育む木のおもちゃや造形パネルも設置した。木の良さを身近に感じ、心地よく過ごせる環境を提供している。

幅広い世代が多数利用する大型商業施設に設置した、木育ひろば空間には、子供や大人がいつまでも心地よく居られることを狙いとし、色や見た目で強く主張するものを控え目に押さえた。壁面には、木製おもちゃを5つの構成(デザイン・動き・物語・感触・音)に配置し、子供たちの創造力を養い、感性に働きかける要素も取り入れた。若い世代にも、もっと木の良さを知ってもらえる、今までにない商業施設として利用を期待している。

◆仕様躯体:集成材(カラマツ)、床:無垢フロー(アカマツ)



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続) 優秀賞(林野庁長官賞)

003

住まいの耐震博覧会

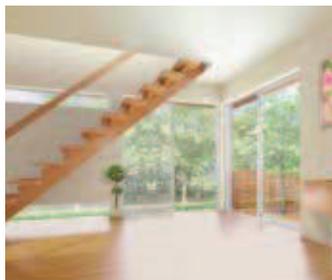
ナイス株式会社

評価ポイント 「木を使う住まいづくり」のあらゆる情報を、一般ユーザーだけではなくプロユーザーにも提供している点が素晴らしい。耐震やエネルギー、健康配慮など暮らしに欠かせない要素の最新情報に一同に触れることができる機会を提供しており、消費者からプロまで木づかいの選択機を広げる契機となっている。

概要

「住まいの耐震博覧会」は木を活用した住まいづくりや暮らしの提案をはじめ、耐震性や省エネ性、健康性に優れた最新の家づくりについて、一般消費者からプロユーザーまで幅広く情報発信しています。ナイス株式会社の主催により、公共団体をはじめ、木材・建材の製造・流通事業者、住宅施工事業者などが広く参画しています。2015年は東京、名古屋、仙台、大阪、福岡の5カ所所で約14万5千名が来場し、2002年からの累計来場者数は170万人に上ります。2016年より木材関連展示を独立させ、(一社)木と住まい研究協会、(一財)木構造建築研究所との共催で、林野庁の後援により「木と住まいの大博覧会」として同時開催しています。

◆ <http://www.nicefair.com/>
入場無料



技術・研究分野 | 技術
優秀賞 (林野庁長官賞)

連続開口設計サポート

株式会社LIXIL

評価ポイント 木材でつくられた開口ユニットを構造解析し、開口部を耐力壁とする在来木造住宅を可能にする新規性ある構法で、開放的で利便性の高い空間づくりを消費者へもたらすことに成功している。システム化によって一般ビルダーへの普及を目指し、暮らしの豊かさをもたらす木造住宅や木造商業施設を広げていくというビジネスモデルとして効果がある。

概要

一般的な流通木材で構成した開口ユニットを用い、ユニットごとに構造解析し、予め壁倍率を算出。それを反映し、邸ごとに家一棟全体の構造計算を実施し、一般的な木造住宅を供給しているプレカット会社/一般ビルダーで開口部を耐力壁とする在来木造住宅を提供可能とするシステムです。

元々、日本人が慣れ親しんだ木造住宅は現在の木造に比べ、とても開放的なものでした。しかし、断熱気密耐震の確保等の制約でデザイナーの意図を実現しづらい面が現在の在来木造住宅にあり、設計的な意図ではなく開口部が小さくなる傾向にあります。このシステムを使って、一般ビルダー・PCによって開口自由度を持った在来木造住宅を実現することで、今まで以上に室内が明るく、風通しのよい快適な、日本人にとってなじみ易い、開放的な木造住宅で暮らすことができます。

◆ http://www.lixil.co.jp/lineup/construction_method/smart_skeleton/
仕様: 開口部を耐力壁とした在来木造住宅の提供システム
価格: 構造計算料350,000円(延床面積150㎡未満) (税別)
入手先: 株式会社LIXIL

004



建築・空間分野 | その他
優秀賞 (林野庁長官賞)

JRKYUSHU SWEET TRAIN 「或る列車」

九州旅客鉄道株式会社

評価ポイント 木質の美しく快適な内装空間のデザインは、そこが列車内であることを忘れさせるほど印象的で充実感をもたらす。九州の地域の魅力を発信する車両床、家具、窓の板戸・障子、窓飾り組子、雪見障子などに地域の杉材が使われ、まさにハートフルな空間づくりにつながっている点を高く評価した。

概要

明治39年(1906年)、当時の「九州鉄道」がアメリカのプリル社に豪華客車を発注したものの、活躍する機会がなかった「九州鉄道プリル客車」、通称「或る列車」。世界的な鉄道模型の神様といわれた故・原信太郎氏が作成した模型を元に、水戸岡鋭治氏がデザイン・設計。「原鉄道模型博物館」副館長を務める原健人氏が監修。1号車車内はロマンチックな色の木材を使用し、格子天井等のクラシカルな雰囲気を感じられる空間に、2号車車内は落ち着いた色の木材と組子の雪見障子を使用した個性的なコンパートメント(個室)空間としています。ふんだんに木材を使用した豪華な車内とともに旅を演出するのが、世界的にも評価の高い成澤由浩シェフのスイーツコースです。

◆ <http://www.jrkyushu-aruressha.jp/concept>
仕様: 2両1編成

005



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続)
優秀賞(林野庁長官賞)

アベマキ学校机プロジェクト

岐阜県立森林文化アカデミー、美濃加茂市、可茂森林組合、美濃加茂市立山之上小学校、株式会社丸七ヒダ川ウッド、岐阜県森林研究所

評価ポイント 上級生が机を作り1年生に贈るという、木づかいの思いが引き継がれていく点、学校という継続性のある仕組みの中で取組まれている点は意義深い。木の天板作りも6年生の木工であれば無理なく作りやすく学校教育、木育の面からも評価できる。取組全体にまとまり感があり、ステークホルダーすべてが関与していることは重要である。

概要

アベマキ学校机プロジェクトでは、岐阜県美濃加茂市北部に群生しているアベマキを使い、地元の小学校で生徒たちが毎日触れる学校机の天板を制作します。アベマキはかつての薪炭利用がなくなり放置され、かつ材の性質も反りや割れなどが激しいため木工用途としても活用されてきませんでした。しかし非常に硬い材であり机の天板用の材料としては最適です。乾燥試験を繰り返し、反り、割れなどの欠点を克服することで有効利用を促します。このプロジェクトでは、生徒らは、5年生の冬にアベマキの伐倒現場を見学します。伐倒されたアベマキは製材、乾燥され、天板に加工しますが、6年生になったらその一部を体験します。こうして出来上がった天板は翌年入学してくる新一年生に贈られます。この流れを毎年実施しながら、里山の整備と地域材の循環、そして子どもたちへの地域の自然に対する心を育てていくことを目的として、岐阜県美濃加茂市、可茂森林組合、岐阜県立森林文化アカデミーが中心となり、地元の小学校や製材所などと本活動を進めています。この地域内で完結する身の丈にあったプロジェクトということも特徴です。

◆http://gifuforestac.blogspot.jp/2015/08/blog-post_20.html

006



コミュニケーション分野 | 普及・啓発(システム化)
優秀賞(林野庁長官賞)

東京おもちゃ美術館「ウッドスタート」

特定非営利活動法人日本グッド・トイ委員会

評価ポイント 生まれた土地の木で赤ちゃんのおもちゃを作り、贈る。川の流域、地域、木材産地など汎用性がある取組であり、木のおもちゃと子どもの育ちという点に温かく、卓越したメッセージが込められている。同様の仕組みで他分野への展開の可能性も感じられる。

概要

ウッドスタートは、東京おもちゃ美術館が取り組んでいる木育推進事業のこと。「ファーストトイは地産地消の木のおもちゃから」を合い言葉に、全国各地の自治体が、地域材を活用した東京おもちゃ美術館監修のオリジナル木製玩具をプレゼントする事業を展開しています。2011年4月に東京都新宿区が開始したのを皮切りに、北海道雨竜町、群馬県上野村、東京都檜原村、岐阜県美濃市、宮城県日南市、沖縄県国頭村など、13の自治体がすでにウッドスタート宣言をしています。さらに今年度末までに、10近くの自治体が宣言を予定。全国各地にウッドスタートの風が吹き荒れています。このウッドスタートは、当該自治体の誕生祝い品事業にとどまりません。同じくウッドスタート宣言をした企業(良品計画、内田洋行など9社)が、社員やお客さんにプレゼントする誕生祝い品としても採用されています。東京おもちゃ美術館のイベントや全国ネットワークを活用しての販売も行われています。「地産地消」から「地産外消」へ。そしてもちろん赤ちゃん時代にとどまらず、食器や勉強机、ベッド、マイホーム、最後は棺桶まで、くらしの中に木を取り戻す運動でもあります。

◆<http://mokuikulabo.info/ws/>

007



建築・空間分野 | 量産型住宅
優秀賞(林野庁長官賞)

積水ハウス シャーウッド
～純国産材プレミアムモデル～

積水ハウス株式会社

評価ポイント ハウスメーカーの取り組みとして国産材の使用が本格化しているが、これは柱と梁を100%国産材化した商品であり、消費者に対して、地域ブランド材の価値を可視化するコミュニケーションプログラムも併せ持っている点が秀逸である。地域材のブランド価値向上とユーザーの地域への思いの醸成の両立を満たしている。同様の実践が、他のハウスメーカーに浸透していくことを期待したい。

概要

積水ハウスの木造住宅『シャーウッド』において、柱と梁をまるごと国産材化した商品。柱については本物志向の地域ブランド材(杉:秋田杉・吉野杉・飢肥杉、檜:木曾檜・吉野檜・美作檜など)を準備。お客様のお住まいの地域に近い産地で育った地域ブランド材を使用することが可能で、住まいへの愛着や地域材(国産材)への関心を促します。また、最も使用量が多いにも関わらず、強度面から一般的に国産材活用のハードルが高いとされてきた「梁」についても、国産材を贅沢に使用しています。住宅の構造性能についても、北欧産材を使用する場合と変わらない高いレベルを実現するために、国産材の柱・梁の品質を確保。出荷量の増加に対応するために、新たなメーカー様や生産者様とのネットワークを構築し、樹種を追加しました。地域ブランド材の構造柱には樹種と産地を印字して表現し、建築中の現場でも見学のお客様、近隣の方、工事関係者が身近に感じ、国産材の魅力が伝わるようにしています。

◆<https://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2014/report/biodiversity/wood/4/>
価格:仕様、プランに応じて異なる
入手先:積水ハウス株式会社 全国(沖縄県除く)の支店にお問い合わせ

008



コミュニケーション分野 | ビジネスモデル
優秀賞(林野庁長官賞)

キシル 六次産業化プロジェクト

株式会社キシル

評価ポイント 六次産業を川上からでなく、ユーザー目線から迎えるという逆転の発想に新たな展開の可能性が見えてくる、ウッドデザイン賞に相応しい優れた取組である。消費者ニーズを正面からとらえ、自社の開発プロセスに活かし、地域での協業につなげていく本来あるべきバリューチェーンを目指している点を評価した。

概要

農業や水産業ではよく見られる六次産業だが、キシルでは林業での六次産業化を目指している。現在は製材工場「キシル東工場」と加工工場「キシル南工場」が稼働。将来的には山林の購入も視野に入れている。

六次化のメリットは木材生産の時点でコスト管理ができることである。販売計画をもとに伐採や製材、スムーズな製造を進めることが可能で、消費者のニーズを各プロセスにタイムリーに反映できる。ユーザーから届く要望や情報をもとに、地元の林業家や製材・加工業者とも積極的に連携している。

◆<http://www.xyl.jp/html/muku.html>

009



技術・研究分野 | 調査・研究
優秀賞(林野庁長官賞)

RC/S造建築物における 内装木質化設計マニュアルの作成

公益財団法人木材・合板博物館

評価ポイント 内装の木造化、木質化のための実践的なマニュアルであり、木を使った設計、デザインの質向上につながる社会性の高いものである。煩雑な情報を丁寧に積み上げており、設計の際の使い勝手の良さとともに、新たなデザインアイデアにつながるようなクリエイティブ・ツールとしても役立ちそうである。

概要

建築士が設計上RC/S造建築物内装の木質化を設計する上で「防耐火規制」の諸規程をいちいちチェックするのは面倒である。「内装木質化ハンドブック」は、この理由から木質化が推進されていない現状を打破するものであり、国土交通省の営繕部等第三者からも高い評価を得ている。また施主が消防の検査を受ける場合でも、このマニュアルが役立つように、素人でも判り易い内容になっている点の特徴である。

建築基準法等の防耐火規制は人命を守る為の規制として厳守すべきだが、「木」は今後インテリアデザイナーや建築士による、センスあるデザインの中で主張されるべき素材である。木造化、木質化による「木」の活用は、とかく構造材ばかりに目が向けられるが、首都圏で高層ビルが立ち並ぶ中で、構造部分の木質化が不可能だとしても、内装の木質化は可能であり、このことは「木」の需要増加に繋がる。

◆<http://www.woodmuseum.jp>
仕様:全77ページ (一部カラー)
価格:2,000円(消費税、送料別)
入手先:博物館HP (<http://www.woodmuseum.jp>)

010



建築・空間分野 | 量産型住宅 | 奨励賞(審査委員長賞)

011

あたらしい家 校倉

伊佐ホームズ株式会社

概要

「あたらしい家 校倉」は日本の「木」の文化や伝統を大切にしながら、住宅を構成する要素をシンプルにすることで、デザインや品質の向上とコストダウンを追求した家である。平面は4間(7.272m)角の4隅に1間×1.5間(1.818m×2.727m)のユニットを配置した正方形のプランに、玄関スペースが加わった形態である。内外装の仕上材に天然の木材を多く使用しながら、全ての工程において合理化を実現した。どのような町並みにも調和出来るよう、パネル化した杉板の外壁と方形の屋根で構成されたシンプルな外観となっている。

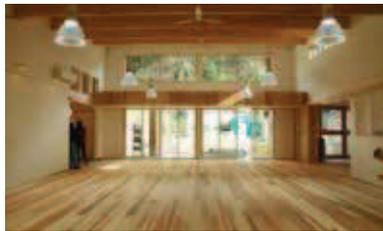
◆<http://www.isahomes.co.jp/azekura/index.html>

仕様:木造2階建 延床33坪

参考価格:2,475万円(税別)

入手先:伊佐ホームズ株式会社

評価ポイント 木質住宅のシステムモジュールは斬新、4間角の平面と自由で可変性あるユニットのシンプルな構成で空間を自由にデザインできるフレキシビリティが良い。時間とともに変化する家族構成、ライフスタイルの変化に応える現代的な発想がある。



建築・空間分野 | 保育園・幼稚園 | 奨励賞(審査委員長賞)

012

やまなみ保育園

m-di空間デザイン、社会福祉法人清菱会、株式会社設計工房α、株式会社スタジオゲンクマガイ、株式会社和晃建築

概要

福井県小浜市の保育園。将来を担う子どもの感性を豊かなものに、また地元への誇り・愛着を感じられる保育園にしたい、という要望を受けました。そこで福井県産材の「杉」を用い、園児の五感に働きかけ体験を豊かにする生活空間として園舎・園庭をデザイン。既存の遊び遊具にとられない、子どもの育ちにとって重要な感性へ響く仕掛けを設けた保育園とすることに注力しました。その過程におき「杉材」の価値の再定義を行い、その中で地元工務店とタッグを組み、建築を通じた地域の魅力の再発見も目指しました。

◆<http://seiryo-kai.jp/yamanami/>

仕様:木造平屋

評価ポイント 県産材の杉を用いて、園児の感性を伸ばす生活空間としての工夫が凝らされた園舎・園庭のデザインである。幼児期の多くの時間を過ごす保育園において、地域のこと、木材のことを空間を通じて伝えることで生活の一部に木があることを教えている。

木製品分野 | 雑貨・日用品 | 奨励賞(審査委員長賞)

013

ケロリン木桶

内外薬品株式会社、志水木材産業株式会社、長野県

概要

解熱鎮痛薬「ケロリン」の広告媒体として誕生した「ケロリン桶」。50年の歴史を経て、初めての木桶バージョンが誕生しました。「ケロリン木桶」は、長野県の「木」の文化の再生を目指した取り組みに賛同して発売しています。木材は木曽のサワラを利用し、桶の底に「ケロリン」のロゴデザインの焼印を押しています。なお、本製品の販売収入の一部は、長野県の「森林(もり)の里親制度」の取組として、木曽広域連合が運営する「水源の森基金」へ寄付されます。

◆<http://www.naigai-ph.co.jp/information/entry-000219.html>

<http://shimizumokuzai.jp/itemdetails?id=1>

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyo/sangyo/ringyo/kensanzai/oketaru.html>

仕様:直径245mm×高さ120mm

価格:4,000円(税抜)

入手先:東急ハンズ長野店、銀座NAGANO

評価ポイント 銭湯をメディアにした、木のある暮らしの提案である。身近で見慣れた製品の素材を木に転換することで、木の良さを再認識させるユニークな発想。分野を超えたものづくりやモチーフの転用は、今後の木材利用の大きな切り札となり得る。



木製品分野 | キッチン・食器 | 奨励賞(審査委員長賞)

014

めぐる

株式会社明天、ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン、石原木工所、丸祐製作所、吉田漆工房、塗師一富

概要

「めぐる」は、漆器本来の心地よい手触りや口当たりを追求したお椀です。デザインには、視覚障がい者が活躍するソーシャル・エンターテインメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」のアテンドたちが参加しています。目を使わない人々の特別な感性と、高い技術を持つ会津漆器の職人たちの技が融合し、抱きあげたくなる優しい器が生まれました。きれいに重なる三つ組のお椀は、禅の修行に用いる器「応量器」にヒントを得ました。一番小さな器は子ども椀として使い始められ、成長と共に飯椀・汁椀・菜盛り椀と増えて“人生に寄り添う”一揃いになります。僅か2%になった国産の漆を守るため、購入時に漆の木の植栽活動に寄付がなされます。採られた漆で、産地の若手職人が塗り直しをお受けします。使い手も作り手も原料も、世代を超えて引き継がれる器です。

◆<http://meguru-urushi.com/>
仕様:「水平(すいへい)」「日月(にちげつ)」の2シリーズを展開
価格:7,000円(税別)～
入手先:サイトから購入が可能

評価ポイント 視覚障がい者の研ぎ澄まされた感覚で肌触りや持ちやすさを試してもらい、商品化した開発プロセスが秀逸である。使い勝手の良さ、という食器本来のあるべき価値を独創的な手法で向上させているストーリー性ある製品。

間伐材を再利用してもく糸クロスの開発に成功しました



①チップ化→蒸解→機械漉き和紙→糸を織った布
②天然資源から出来たオンリーワンの素材です。もとは衣料用に開発された糸で造られた布で、針葉樹の持っている天然由来の機能と特性があります。
③クロスの表面の風合も優しく奇麗で、保温性、断熱性、通気性、吸湿性に優れている。
④毛羽立ちが無く、ホルムアルデヒドの発生も無く敏感肌の方にも優しい。
⑤紫外線も通し難くブラインド、カーテンなどへの汎用性、
⑥漂白剤を使わず木のナチュラルな色を表現。
⑦不燃・ホルムアルデヒドなどの認定番号も取得、退色性・摩耗性もクリア。林業・木材業・建築業と繊維産業の連携で地域ブランド化し、地産・地商のGlocal・クールジャパンを目指します。

建材・部材分野 | インテリア | 奨励賞(審査委員長賞)

015

間伐材もく糸クロス

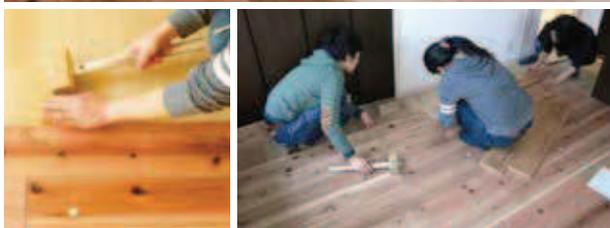
株式会社和紙の布

概要

もく糸クロスは、森林整備で出る杉・檜の間伐材を「チップ化→蒸解→機械漉き和紙→糸を織った布」にして出来た壁装用のクロスです。国内で循環型生産が可能な天然資源から出来たオンリーワンの素材です。もとは衣料用に開発された糸で造られた布で、針葉樹の持っている天然由来の機能と特性があります。①クロス

◆<http://www.mokuito.co>
仕様:間伐材を活用して作った和紙繊維で作った壁装用クロス
価格:3,500円/m(巾92cm)
入手先:ホームページからメール・ファックスで注文

評価ポイント 木糸の開発には新規性があり、製品としての質感のクオリティが非常に高い。建材としての可能性が広がり、多用途に向けたデザインや製品化が期待できる。



建材・部材分野 | 床・壁・内外装材 | 奨励賞(審査委員長賞)

016

敷くだけフローリング

SMALL WOOD TOKYO

概要

「敷くだけフローリング」は、東京産のスギ・ヒノキを、東京で製材・加工している、生粋の「東京産」のオーダーメイド商品です。部屋の寸法に合わせて長さ・幅・配置を設計し、適切に製材・乾燥した床材をぴったりサイズにカットしてお届けします。本格派の無垢床を、パズル感覚で誰でも簡単に敷くことができます。いまある床の上に設置するだけなので、賃貸住宅の原状復帰も簡単、引越先での再使用も可能。従来の床リフォームの常識にはない製品です。調湿・消臭効果に優れ、室内の空気を心地よく改善します。東京の森でも、戦後に植林されたスギ・ヒノキが伐期を迎えています。林業を立て直し、健全な森を未来につなぐためには、現在「花粉発生源対策事業」で大量伐採される木々の有効活用が不可欠です。その販路を拓き、森の再生を目指しています。

◆smallwood.tokyo
価格:スギ26,600円/畳 ヒノキ35,300円/畳

評価ポイント 東京産のスギ・ヒノキを製材・加工した東京産の製品。敷くだけ、という簡易さ、賃貸住宅でも可能な利便性、自分でデザインする楽しみ、など木のあらゆる暮らしを身近にしてくれる、実用性に富んだ提案である。



木製品分野 | 設備 | 奨励賞(審査委員長賞)

017

Wood INFILL

株式会社内田洋行、鹿沼WOOD INFILL有限責任事業組合、パワープレス株式会社、日本全国スギダラケ倶楽部、テラダデザイナー級建築士事務所

概要

Wood INFILLは、大掛かりな工事を行うことなく、簡易に木質空間を作り出すためのシステムプロダクトである。「Box in Box」という空間手法を用い、木のフレームを建築空間の内側に設置することにより、空間の木質化、設備やインテリアを建築躯体に関わらず取り入れる事ができ、柱の本数や梁の長さを変え、様々な空間を柔軟に構築することが可能だ。金属パーツを活用し、難しい加工をすること無く、木材を空間に取り入れ、建築附帯の内装と家具の中間的な新しい用途(ビッグファニチャー)を提供することで一部の限定された地域だけではなく、全国で地場の材料を生活に活用していく事を目的としている。それは山林、地域、そして企業と人が繋がる未来のプロダクトである。

◆仕様:杉など針葉樹を中心とした木材(地場材)

価格:プランにより変動

入手先:<http://www.uchida.co.jp/woodinfill/>

評価ポイント 屋内に手軽に木質空間を作り出すことができる汎用性の高いユニットである。構造はシンプルで、ユーザーの装飾や工夫次第でオリジナルな木質空間の提案が可能である。幅広い活用が見込まれる点を評価。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続)

018

奨励賞(審査委員長賞)

POLUS-ポラス-学生・建築デザインコンペティション

ポラス株式会社

概要

「木造」に強くこだわるこの建築デザインコンペティションは、「木の家」による魅力的なアイデアの募集を通じて、学生の皆さんに木造建築・住宅建築に対する理解を深めていただくと共に、今後の日本の木造建築文化・住文化・住生活をより良くしたいと考え開催しています。また応募作品からの「実物件(商品)化」を進めることで、机上の空論ではなく、実際に建築される「リアリティ」が感じられるコンペとしています。本コンペを継続させることで「木」への関心を寄せる機会を提供し、「木の家」による魅力的なアイデア募集で建築の道を志す学生の自由で新鮮な発想を表現・公表する機会を設け、ひいては建築業界の発展に貢献できればと考えております。第1回は458作品(登録906件)、第2回は447作品(登録800件)と、多くの建築を志す学生からの支持を得ています。

◆<http://www.kenchiku.co.jp/polus/>

評価ポイント アイデアレベルに留まらず、商品化までを視野に入れた本物感が良い。これからの担い手である学生の参画によって、これからの木のある暮らしの有り様を先取りする取組である。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続)

019

奨励賞(審査委員長賞)

全国一斉100のありがとう風呂

株式会社熊野古道おわせ

概要

100のありがとう風呂は母の日、父の日、敬老の日など、家族に「ありがとう」を伝える日に「感謝の言葉」を書いてお風呂に浮かべるイベントです。想いを繋げるアイテムは小径木を3センチに輪切りにしたシンプルなデザインのメッセージウッド。地域の学童保育や近隣の小学生を中心にメッセージを集め、お風呂に浮かべ家族の絆を結びます。幼き頃に木に触れ、木を憶えるシチュエーションを演出しています。このイベントを日本中の温浴施設で一斉に開催する「全国一斉100のありがとう風呂」は、日本中の家族の絆を繋いでいます。小径木の間伐材は、伐採すればするほど、豊かな森を作り、世界遺産熊野古道の森の保全にも繋がります。平成21年から国内の400店舗を超える温浴施設が参加、メッセージウッドの総数は15万枚となりました。2016年には上海での開催を予定。

◆<http://100origato.wordpress.com>

仕様:φ9cm×高さ3cm 尾鷲ヒノキ小径木(輪切り)

価格:参加費18,000円~(メッセージウッド100枚)

入手先:株式会社熊野古道おわせ

評価ポイント 浮かぶ、香りがする等の木の特性を生かし、木の板にメッセージを書き、大衆浴場でそのメッセージを読みながらひとときを過ごせる。わかりやすさ、誰もが参加できる仕組み、世代間交流の促進などコミュニケーションツールとしての、木の機能性に着目した点を評価。



技術・研究分野 | 調査・研究 | 奨励賞 (審査委員長賞)

020

木の内装と間接照明を組み合わせた寝室環境による睡眠の質改善効果と疲労軽減効果

住友林業株式会社

概要

睡眠の質の悪化は心身の不調を引き起こし、日中の作業能率の低下(疲労)および生活の質(QOL)の低下をもたらすことから深刻な問題と捉えられている。本研究では、木の光学的特長(青色波長成分を多く吸収する)を活かす一手法として、木を間接照明の反射板として利用する方法に着目し、木の内装と間接照明を組み合わせた寝室環境による睡眠の質改善と疲労軽減効果について検討するため、健康成人男性を対象とした医学的試験を実施した。その結果、この組み合わせは、就寝前に適した副交感神経優位な状態へスムーズに移行させる寝室環境をつくり、上記の機能性を有することが示唆された。本研究の成果は八王子展示場の寝室仕様に反映し、展示場の来場者に光環境を体感してもらうことによって、「木の間接照明」による効果の紹介をしている。

◆https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcam/12/2/12_55/_article/-char/ja/
仕様: 戸建住宅向け寝室仕様「木の間接照明」
入手先: 住友林業株式会社筑波研究所

評価ポイント 現代は睡眠障害の時代とも言われる。健康や生活の質の低下をもたらす、この現象を木の内装と間接照明を組み合わせた寝室環境から解決しようという意欲的な試みである。睡眠や疲労軽減と木の関連性の医学的なエビデンスは木の利用範囲を広めることにつながる。



建築・空間分野 | 公共施設 | 奨励賞 (審査委員長賞)

021

阿蘇くまもと空港 国内線ターミナル

株式会社日建設、熊本空港ビルディング株式会社、大成建設株式会社、一般社団法人熊本県木材協会連合会、株式会社ウッドイーファーム

概要

空港ターミナルは従来、画一的で無機質な空間になりがちです。阿蘇くまもと空港の旅客ターミナルは県産材を前面に採用し、「くまもと独自の空の玄関」としました。外部、内部、触れる高さに適材適所で木を使い分け、大規模建築を五感に働きかける、木の暖かみ、香りを感じる、木造を超える、木質空間としました。「ALLくまもとの木を集めて纏うことを考え、小国、鹿北、山都、球磨・芦北から杉を集めました。カーテンウォール方立、サイン、カウンターに熊本県産の檜を使いました。調達・加工・施工を含め、熊本の木材流通ネットワークを最大限活用し、木の色味、節の具合をそそえながら材料手配をしました。木廻りのマテリアルはすべて自然素材、自然色のマテリアルとすることで「くまもとの木」を引き立てる素材としました。

◆<http://www.kmj-ab.co.jp>

評価ポイント 地域材を内装に使い、木の暖かみに触れ、香りを感じることで五感に働きかける「おもてなし」空間をデザインしている。木の質感を活かした空間は意匠性に富み、来訪客の記憶に残るものとなるだろう。



建築・空間分野 | その他 | 奨励賞 (審査委員長賞)

022

へんろ小屋

歌一洋、「四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト」を支援する会

概要

へんろ小屋とは四国の札所を巡拝する遍路道1400kmにある、お遍路さんが休憩・仮眠する東屋的建物。プロジェクトは歌一洋が2001年からボランティアで設計・建設推進中で、54棟完成している。5棟の小屋はこの一環。小屋は主に地域住民が歩き遍路の「お接待」に使う。建築費用は個人を主に、企業、各種団体、行政他の寄付による。設計は建設地域の特有の風土、伝統、産業等の文化や空海の思想も反映している。できるだけ多くの地域住民によりつくる過程を大切にしている。手段としての小屋でふれ合い、支え合いの精神が四国から日本、世界へ広まることを願っている。※支援する会は歌一洋のこのプロジェクトをサポートし、共に建設を推進する任意団体。

◆<http://www.geocities.jp/henrogoya/>

評価ポイント 独特の意匠を持つ木小屋を通じて、お遍路さんとのふれあい、遍路文化の向上につなげるという、地域文化を象徴する木づかいの好例。専門的な技術を要しない構法は、建築、家具など多様な展開の可能性を持ち、参画者が今後も積極的に木を使う契機にもなる。



建材・部材分野 | インテリア | 奨励賞(審査委員長賞)

023

樹の壁紙 恋樹百景

株式会社ビッグウィル

概要

つき板を使用した壁紙です。多くの内装で使用されるクロスと同じように施工が可能で、天然木では実現が不可能だと考えられていた「折り曲げ」もできる商品です。間伐材や、産地指定材での製造も可能で、端材にされてきた材の有効利用にもつながります。ビニールクロス等にはない天然木のぬくもりが感じられる壁紙です。

◆<http://www.bigwill.co.jp/product/koiki.html>

仕様:天然木の壁紙

価格:平米単価5,000円~(樹種による)

入手先:株式会社ビッグウィル特約店

評価ポイント 木材の使用量としては多くはないが、木の質感や表情を表して使える点がユニークで楽しい。クロスとしての使い方以外への展開の可能性も高く、クリエイターの心理をくすぐるアイテムである。



木製品分野 | 照明器具 | 奨励賞(審査委員長賞)

024

Pendant Lamp BL-P425

ブナコ株式会社

概要

テープ状にしたブナ材をコイルのように巻き、それを押し出して成型するという、ブナコの製法ならではのデザインです。木の温もりを感じるこの出来る癒やしの空間を作るだけでなく、スタイリッシュな空間をも提供いたします。中間部は光を透すと温かなオレンジレッドに包まれた木目が浮かび上がります。“巻き”の部分が多く変化に富んだ形はブナコファンのお客様に好評をいただいています。

◆<http://bunaco.jp/Products/lamps/lampmain.html>

仕様:シェードのサイズ(mm) : φ553×H224

価格:91,800円(税込)

入手先:ブナコショールーム”BLESS”、全国のインテリアショップ

評価ポイント 美しい曲線は独特の巻き加工によるものであり、木を介した柔らかな灯りは見ている者の心を和ませる。加工の難しいブナ材を技術とアイデアで高い品質へと導いた。新しさの中に懐かしさを感じる製品である。



木製品分野 | 家具 | 奨励賞(審査委員長賞)

025

KURIKOMA

株式会社ワイス・ワイス

概要

ワイス・ワイス代表の佐藤が被災地で巡りあったのがスギを専門に製材業を営む(株)栗駒木材である。「被災地が自立できるように仕事を通じて復興に携わって欲しい」と、同社の大場代表から嘆願され、家具専門の技術を持たない製材所での被災地の人々による家具づくりが始まった。宮城県栗駒山麓のスギ材は驚くほどに優しく、柔らかく、温かい。素材の持つ感触、風合いと香りをそのまま生かした。また、デザイン性ととも強度も担保する方法を建築に用いられるCLT工法に求めた。フレームを三層構造にし、繊維が直交するように組み合わせることで、JIS規格の3倍の強度を得ながら、細い脚でシャープなカタチが実現した。KURIKOMAの家具づくりから5人の雇用が生まれ、「この椅子に座ると幸せな気持ちになる」と多くのお客さまから嬉しいお言葉を頂いている。

◆<http://wisewise.com/>又は<http://wisewisefurniture.com/>

仕様:スギ無垢材<宮城県産>(蜜蝋ワックス)

価格:42,000円(品番KH-104)

入手先:ワイス・ワイス表参道店 or ワイス・ワイス オンラインショップ

評価ポイント 被災地域に暮らす人々が機能性の高い家具を製作し、持続的な復興に取り組むプロジェクトである。軽量化にこだわった国産家具を製作するために、CLT工法を採用するなどアプローチも多面的で、物語性がある。



木製品分野 | 家具 | 奨励賞(審査委員長賞)

026

100年杉のsim chair

KOMA.co.,ltd

概要

全ての部材・加工に意味があり1mm・1gでも無駄を削ぎ、長時間の快適性、永年の耐久性、取り回しやすい軽量など、求められる機能を最大限に満たしながら最小限の木材と肉厚で構成した究極のダイニングチェアを創りたいと考えました。高性能のバイクなどに用いられる構造を採用し、全ての部材が「半パイプ形状」「リブ形状」です。日本の「削ぎ落とす美」を大切にしたいと考えました。日本固有種である杉は椅子製作では柔らかさが難点となり敬遠されますが、日本の木工技術や道具の完成度でこれを克服し利点を付加した椅子の製作に成功しました。木材において目を向けるべきは100年の歳月を人の手で大切に育てられた「主伐材」です。強度が高くワレや節の少ない上質な木材であるからこそ生み出す事ができる商品により主伐材の価値向上に貢献し持続可能で健全な森林経営に繋がればと考えます。

◆<http://www.koma.gs/works/collection/new.html>

価格:200,000円

KOMA SHOP(直営店)

評価ポイント シンプルさを追求したダイニングチェアで、杉の主伐材を採用し柔らかさ、温かさ、香りを演出するとともに、造形性が非常に優れている。徹底した軽量化のために導き出された機能美がユーザーの心に伝わってくる。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続)

027

奨励賞(審査委員長賞)

誕生木 (たんじょうもく) 12の樹の物語

株式会社Labo

概要

「誕生木 (たんじょうもく) 12の樹の物語」は、木にこだわる住まいづくりに携わる私たちの使命として、木の持つ優しさや温もり、そして現代人が忘れつつある大切な木の文化をより多くの人に伝えたいという思いから開発しました。昔から日本人に馴染みのある12の国産樹種を誕生月の木(以下、誕生木)として設定し、その木にまつわる物語を合わせて伝えることで木の素晴らしさを広めています。誕生木を雑貨や家具、住まいの一部として暮らしの中にとり入れる提案により、木に親しみかけをつくり、癒しをもたらす感性豊かな心を育むとともに、木の文化継承につなげます。

◆<http://www.jk-labo.com/birthtree/index.html>

価格:木のみまごスタンドセット3,240円、その他雑貨518円～

入手先:当社ショールーム、販売サイト <http://tanjoumoku.com/>

評価ポイント 誕生木というストーリー性が良く、プロダクトのクオリティも高い。暮らしとの接点を探りつつ、誕生月という人々の心に残るコミュニケーションデザインが良くできている。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続)

028

奨励賞(審査委員長賞)

木レール(君のミニ列車を幻の五新鉄道で走らせよう)

NPO法人五新線再生推進会議

概要

平成26、27年に奈良県南部の五條市賀名生に残る五新線跡地を利用し、森林の中で楽しめる鉄道玩具の走行会を行った。このイベントでは玩具として市販されているミニ列車すべてが走行可能な木製レール(木レール)を作成し、それを総延長2km繋いでコースとし、子供たち手持ちの鉄道玩具を走らせ、共に歩いた。木レールは建築用材の端材や間伐材を加工して作成され、一本2mの長尺レールや陸橋、ループなども自由に作成し長距離コースに取り入れ、2時間程度で2kmを設置、撤去ができることが特徴。会場となった五新線跡地は、河瀬直美監督の映画「萌の朱雀」で有名になった木材運搬用鉄道の計画地で森林に囲まれた自然豊かな史跡である。今後、木材を使用した列車本体やジオラマ作成も展開する予定で、各地への貸し出しなどを通して木製玩具の魅力を広めていく。

◆<http://gojo.ne.jp/goshin-sen>

仕様:鉄道玩具用木製レール

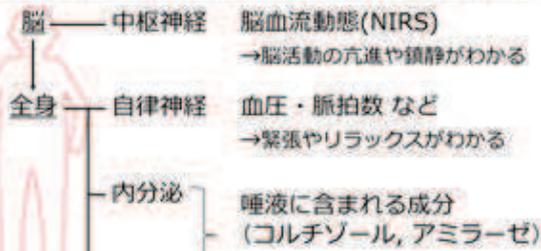
価格:非売品

入手先:NPO 五新線再生推進会議

評価ポイント 木づかいの可能性を広く認知させるという点において、ニュース性がある取組。廃線になった場所を使うことで、地域の歴史を振り返ることもつながる。子どもから大人まで参加でき、見た目もわかりやすい活動である。

人の生理特性を測る

- 人の生理面の変化が数値として現れる → 客観的評価
- 測定結果が人の意思に左右されない → 科学的信頼性



技術・研究材分野 | 調査・研究 | 奨励賞(審査委員長賞)

029

人間の快適性に及ぼす木材の触覚、視覚及び嗅覚刺激の効果の解明

国立研究開発法人森林総合研究所、京都大学生物材料設計分野

概要

人間にとっての「木材の良さ」を、木材の物理特性を計測し、測定値から説明する従来の研究から発想を逆転させ、「人間」を測ることにより解明する研究を先駆的に進めている。これまで、血圧や脈拍、脳を流れる血液などの動態から、木材が嗅覚を通じて人をリラックスさせることやパソコン作業中のストレスを軽減することなどを明らかにした。木材の見た目や手触りによる影響についても検討を進め、手触りの影響について嗅覚と同様の手法で評価できる可能性を見いだした。研究成果については、「木材の良さ」につながるデータの蓄積を進めるとともに、確立した評価手法を「五感刺激を評価できる森林総研メソッド」として広く一般に提案していく計画である。加えて、研究成果をわかりやすく取りまとめ、企業、団体、行政等へ発信し、関係団体と定期的に成果提供及び意見交換を行い、「木材の良さ」の普及とニーズの把握に努めている。

◆<http://www.ffpri.affrc.go.jp/>

評価ポイント 「木の良さ」を最新技術によって研究、科学的な裏付けを実施している意義ある取組。木材の特性ではなく、それを受け取る「人間」に着目した点に唯一無二の価値がある。

技術・研究材分野 | 調査・研究 | 奨励賞(審査委員長賞)

030

国産木材エレキギターの木質形成と音響特性の分析研究

一般社団法人創造再生研究所、株式会社MATSUIギター工房、天竜T.S. ドライシステム協同組合、京都大学農学部森林科学学科

概要

国産木材使用のSAKUWOODブランドのエレキギターです。北海道産栓の木をボディセンター部に、ボディ外周とヘッド・ネック部に旬期月齢伐採のミサクボスギを使用しました。共に天然乾燥8年以上の銘木でトレーサビリティ証明付です。針葉樹と広葉樹のミックスで日本の森林を表現しました。楽器用木材に携わったオーストリアの営林署職員が「楽器用の樹を捜す経験は、暮らしにも良い木を提供し、森と人間社会の有り方を次世代に伝えるべきだと感じた」と言うように、良い楽器は森林思想と匠の技術が凝縮しています。この事から京都大学農学部森林科学学科が、木質形成と動的振動試験を行い、日本木材のブランディングと木材利用の質の向上を図りました。新月期のスギを利用していることから、林業家の精神を尊び「ムーン・レヴォリューションNo.15」と命名しました。

◆<http://www.sakuwood.com>

仕様: 980mm×310mm×45mm 日本産栓の木、天竜スギ

価格: 市販価格350,000円(税抜)

入手(問い合わせ)先: sakuwoodホームページより通販

販売店: LAST GUITAR 03-5913-8302 lastguitar.com

評価ポイント ギターというプロダクトに着目した点もユニークであるが、木質特性や音響特性を大学と連携して検証していることで、国産材活用の可能性を広げることにつながっている。文化や芸術と木の接点を掘り起こす意欲的試みである。



建築・空間分野 | モデルハウス・ショールーム

031

奨励賞(審査委員長賞)

Zero Energy Timber House (ZETH)

金子建築工業株式会社、協同組合 東濃地域木材流通センター【通称 木Keypoint(キーポイント)】

概要

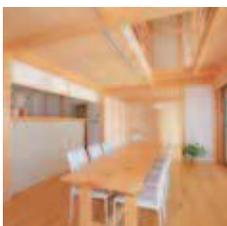
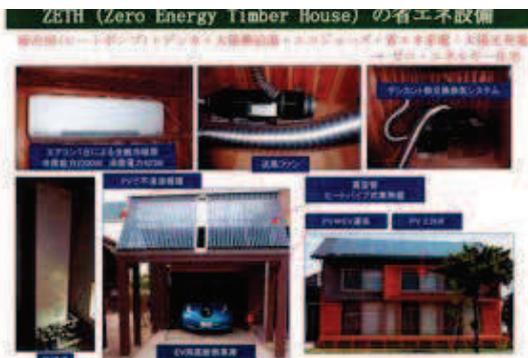
岐阜県東濃地方は東濃ヒノキの故郷です。悠久の時を経て森が育んできた最高のヒノキの価値を、大工・左官の匠の技で最高の住宅として活かす。良い住宅は100年の時を越えて継ぎ継がれてゆきます。その住宅が建てられた時代、多くの家庭では薪や炭・藁等のバイオマス・エネルギーが炊事や風呂・囲炉裏・炬燵等で使われ、現在のような家電製品も無く、いわばサステナブルでした。ZETHは100年後も快適な住空間と住宅の冷暖房や照明・家電・給湯等のエネルギー相当を自給するサステナブルなエネルギー性能を有しています。住宅が建つ土地に最適な断熱と蓄熱性能を土地の気象データから求め、100年快適な居住性をヒノキや杉等の地域材と大工・左官等、職人達の匠の技で形にしています。必要なエネルギー量を建物で創エネし地球環境に負担を掛けず、快適で利便性に優れた木造住宅を目指しています。

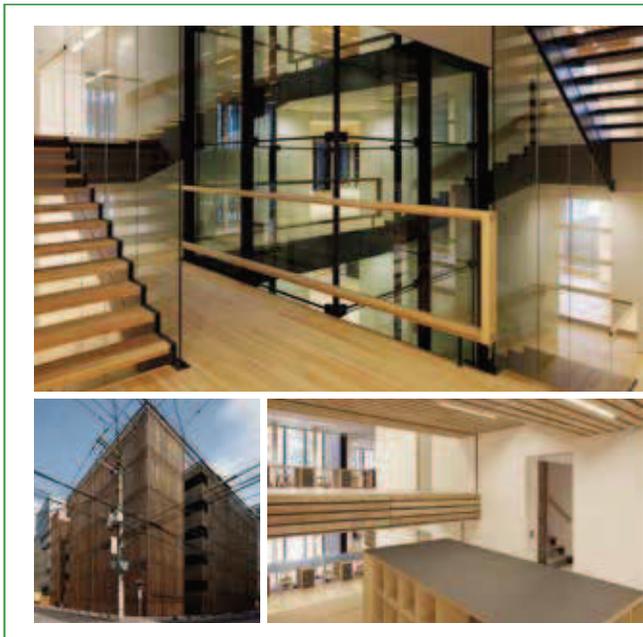
◆<http://www.rakuen-jutaku.co.jp>

仕様: 構造材全て東濃ヒノキ材・造作材国産針葉樹、広葉樹材 価格: 4,300万円

入手先: 金子建築工業株式会社 楽園住宅(施工)

評価ポイント 土塗り壁高断熱の躯体に蓄熱効果をもたらす真壁仕上げ、太陽光発電や太陽熱給湯を合わせ、省エネルギー・創エネルギーの木造住宅のモデルを提案している。高齢者の温暖環境による事故解決のためのひとつの試みとして社会性がある。





建築・空間分野 | オフィス・会議施設 | 奨励賞(審査委員長賞) 032

日本圧着端子製造株式会社

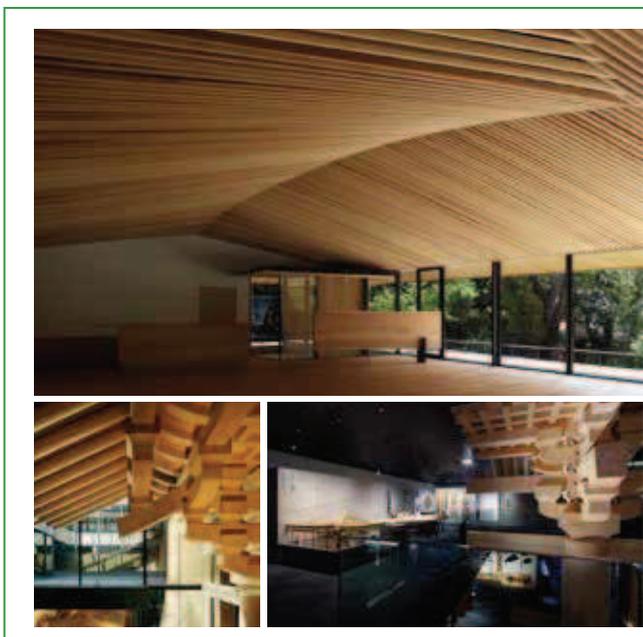
Atelier KISHISHITA+Man*go design、日本圧着端子製造株式会社、鹿島建設株式会社 関西支店、越井木材工業株式会社

概要

圧着端子やコネクタ等、接続システム製品を製造販売するグローバル企業の国内拠点となる新社屋である。都心の防火地域内において防災に十分な配慮をしつつ内外装の木質化を積極的に試みた建物である。地下2階、地上8階建て約8,200㎡の空間は、各階を4つのエリアに分割し、隣り合うエリアが床を半階ずらしながら繋がる二重螺旋構造で構成されている。循環資源である国産木材を多用することで快適な執務空間を形成しつつ、使用材料の素材感や色調の変化を通して、あるいは20年後に想定している外装木格子の取替えを通して、「動的な建築」の在り方を表現したプロジェクトである。働くための空間としてより快適なものを目指すと同時に、ヒートアイランド現象等の環境問題や日本の林業が抱える様々な問題を解決して持続可能な社会を形成していくための「小さくても確かな一歩」となることを目指している。

◆http://www.at-kishishita.jp/i_works/w_jst/works_jst-1.html

評価ポイント 意欲的な内外装の木質化を試みた、意匠性に優れた建築物である。保護塗装を施さずに経年変化も読み込んだ設計は、木の魅力を伝えるに十分な存在感を持つ。外装の木質化によって、林業関係者や設計者の意欲向上にもつながる。



建築・空間分野 | 学習施設 | 奨励賞(審査委員長賞) 033

竹中大工道具館新館

株式会社竹中工務店、株式会社乃村工藝社、公益財団法人竹中大工道具館

概要

日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」が創設30周年を機に移転し、「人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ」をテーマに、道具の保存・展示に加え、職人の技と心の記録、木の文化の理解促進、伝統のものづくり支援など、より幅広い活動を行うため、新たな一歩を踏み出した。六甲山麓の都市の中の森に、地下2層に常設展示室と木工教室を、地上部に鉄と木のハイブリッドによる多目的ホールを設け、緑の中にある平屋の佇まいの和の空間を創出した。7つのコーナー展示、国内外の著名な工匠との協働による実物大模型、職人による伝統的技術とアルミ・鉄・コンクリートにまつわる現代的技術—それぞれの粋を集めた「現代の職人の技と心」を随所に編み込み、大工道具の世界の広がりや豊かさだけでなく、伝統のものづくりに新たな刺激を与える場を目指した。

◆<http://www.dougukan.jp/>

評価ポイント 日本で唯一の大工道具の博物館として、職人技術や先進技術を空間に使い、木の魅力を伝える意匠性が高いミュージアムとなっている。技術展示とともに、木の素晴らしさや木と触れ合う楽しさを体験するワークショップなどを実施しており、日本の木づかいの伝統から技の習得まで次世代へ伝えるべきコンテンツがあることを評価した。



建材・部材分野 | 床・壁・内外装材 | 奨励賞(審査委員長賞) 034

カーボンオフセットサイディング

ニチハ株式会社

概要

国産材(スギ・ヒノキ)の背板・端材を利用した木材チップを原料に、セメント系無機バインダーとの組み合わせによる窯業系サイディング(外壁材)。国産木材の中でも「間伐材」のみ使用することで木材の性能を活かした高強度の外壁材であることに加え、間接的に山の理想的な循環を促し土壌が脆弱な森を強い山に生まれ変わらせ、CO₂吸収拡大にも貢献する機能も併せ持つ。木の生長過程で取り込んだCO₂が製品内部へ固定され、さらに間伐材利用拡大により森林でCO₂吸収源が拡大することに着目し、その両方の効果をクレジットとして付加させており、製品を購入したお施主様は住宅建築後生活時に排出するCO₂の一部を実際にオフセット(相殺)が可能となる。購入代金の一部が森を育てる活動に還元され、製品を選ぶ人が増えれば増えるほど森づくりの輪がひろがり好循環を生み出す。

◆<http://www.nichiha.co.jp/pdf/products/carbonoffset.pdf>
仕様:厚さ16mm×幅455mm×長さ3,030mm 他
価格:3,456円~10,152円/枚 (2,507円~7,365円/㎡)税込
入手先:代理店販売

評価ポイント 国産材の端材等を利用した木材チップを原料にした窯業系外壁材である。購入者には「カーボン・オフセット証明書」を発行し、CO₂削減量を見える化しており、製品購入を通じて環境貢献が実感できる仕組みになっている。



コミュニケーション分野 | 普及・啓発(ツール・メディア)
奨励賞(審査委員長賞)

035

「京銀ふれあいの森」等の地域産材を使用した、銀行店舗内装木質化工事
株式会社京都銀行

概要

京都銀行では、環境問題への取組として、「環境にやさしい店舗」づくりに取り組んでおり、その一つとして、平成21年11月オープン「吹田支店」以降、店舗内装に地域産材を取り入れており、その店舗数は30か店になります。また、平成24年6月からは企業の森である「京銀ふれあいの森」において、行員による森林整備活動に取り組んでおり、その森で行員が間伐したヒノキ材を「高槻支店」や「金閣寺支店」の内装に使用しています。

◆<http://www.kyotobank.co.jp/>

評価ポイント 入口と出口をつなぐ、社会提案性の高いプロジェクトである。行員自らが森林整備へ赴き実践している点、内装木質化の取組の継続性、店舗数の規模を見て同様の事例では群を抜いている感がある。



コミュニケーション分野 | プロモーション(継続)
奨励賞(審査委員長賞)

036

旭川トドマツ屋台プロジェクト

株式会社北海道ポットラック、パワープレイス株式会社、北海道上川総合振興局、旭川市、旭川信用金庫、CONITUREプロジェクトメンバー

概要

トドマツ材は軟らかく、強度や耐久性の点から家具や木工品として使われてこなかったが、蓄積量が多く伐期を迎えるため、活用が期待されている。白く軽量なトドマツ材を効果的に使うため、公共空間やイベントで使用される屋台づくりをスタートさせた。組立式の4WAYの工夫により、通常使用も出来、収納体積を減らした。屋台の格子の連なりから、トドマツ材の美しさを知ってもらうデザインが特徴。川上に対しては針葉樹の製品づくりが可能であることを、川中に対しては製品化に適した乾燥材や規格材の流通を、川下に対しては森の現状や材を理解したうえでのデザイン、製作を相互に学びあう。「北の恵み食べマルシェ」は来場者数100万人を超える大型イベントで、トドマツ屋台はマルシェのスタート地点に設置し、来場者やメディアを通じてトドマツの活用の意味を周知させた。

◆<http://coniture.jp/>
仕様:産トドマツ製4WAY屋台 (鉄製脚 or 木製脚) W1,800~
価格:180,000円~(消費税別)/台 (サイズ、仕様による)
入手先:株式会社北海道ポットラック

評価ポイント 屋台という身近なアイテムを通じて、川上・川中・川下の意識醸成を促し、トドマツの活用を促進するプロジェクト。屋台のデザインクオリティも高く、問題意識と伝え方に一貫性がある。



コミュニケーション分野 | ビジネスモデル
奨励賞(審査委員長賞)

037

やまなし水源地ブランド推進協議会

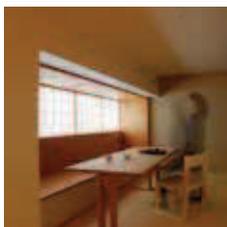
やまなし水源地ブランド推進協議会、早川町、丹波山村、道志村、公益財団法人オイスカ、特定非営利活動法人netやまなし、特定非営利活動法人道志・森づくりネットワーク、山梨県工業技術センター、株式会社イー・シー・ソナテック株式会社

概要

日本の山間地が抱える共通の課題として人工林の整備促進、森林資源を活用した多産産業の開発・振興等があります。これまでも、それぞれの地域において取組みが行われてきましたが、地域のリソースのみで解決する事が難しい現状です。都市部にとっても水源やCO₂吸収など山間地の森林の恩恵を受けている事を鑑み、「やまなし水源地ブランド」では山間地と都市部の産官民が集い、それぞれの強みを活かして魅力ある製品等を開発・発信することにより、水源地を守っていくことを目指しています。全国でも類のない協業のかたちとして、地域材の新たな活用方法の確立につながることも、地域の活性化につながるモデル事業になると確信しています。

◆<http://suigenchi-brand.com/>

評価ポイント 水源地という共通の要素を持った地域が結集し、多様なステークホルダーを巻き込んだ取組につながっている。都市の中の木づかいというニーズに沿った製品開発は個々を見てもクオリティが高く、提案性のあるものになっており、構想とアウトプットがマッチしていると感じる。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続)
奨励賞(審査委員長賞)

038

大工の手

一般社団法人わざわ座

概要

「大工の手」とは、木の家を建てた大工が、誠実な素材でその家に似合う家具をつくり、家と一緒に永く愛着をもって使ってもらう。それを工務店とデザイナーが支援する。木の家具をつくと共に心が繋がる新しい家具のかたち。そして「手仕事を広める運動」です。大工は木を使いこなす手技をもっていますが、その手を活かす環境がここ数年で極端に減り、大工のなり手も少ない。身近な家具をつくることで、その技を活かして誇りを生む仕事にしてほしい。そんな想いも「大工の手」の目的のひとつです。家具の計画は、手仕事集団「わざわ座」に参加する地域のデザイナーが手がけ、生活と環境を心がけた持続可能な家具を目指します。大工・工務店が工房となる新たな「デザイン×ものづくり」のプラットフォームです。

◆<http://wazawaza.or.jp>

仕様:Jパネル

価格:おおよそ15,000円~150,000円(大工の手製品の販売価格)

入手先:「大工の手」の活動に取り組む工務店

評価ポイント 大工が家を作り、その延長線上で家具も作ることで、家具と家をつなげていくユニークな取組。大工とデザイナーのコラボレーションによって質の高い家具開発が実現しており、住まいと家具双方に木づかいの愛着を促している。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続)
奨励賞(審査委員長賞)

039

「セブンの森」プロジェクト

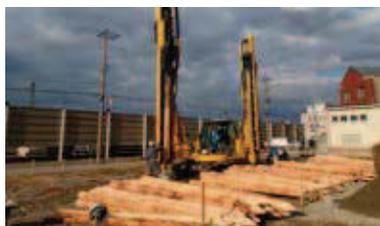
一般財団法人セブン-イレブン記念財団、株式会社セブン&アイホールディングス

概要

一般財団法人セブン-イレブン記念財団が2006年から取り組んでいる「健全な森づくり活動」です。地球温暖化防止対策、生き物豊かな森づくり、美しい景観や環境の保全、環境学習など、行政や森林組合、NPO法人などと協定を結び、「長期的な視点で継続して活動する」をキーワードに全国15ヶ所の「セブンの森」では地域のセブン-イレブン加盟店と本部社員が森づくり活動を行っています。セブンの森の間伐材を活用したセブン-イレブン店頭募金箱の作成や2015年4月に開校した「高尾の森自然学校」の管理棟は、「宮城セブンの森」の間伐材で建築されています。またセブン&アイホールディングスでは紙製飲料容器の商品化、セブンカフェ(年間約4億6千杯)のホットカップ、グループ社員の名刺作成などを進めています。木の本来の特長を最大限に活かした「モノづくり」にも取り組み、「木を循環させる日本文化」で人と人の交流を育みたいと考えています。

◆http://www.7midori.org/katsudo/prevent_warming/711forest/index.html

評価ポイント 可視化された企業のCSV、CSRプログラムとして規模、質とも完成度が高い。小売・流通事業者として、包装容器を通じて最も接点のある一般生活者に木づかいの重要性を伝える取り組みも評価できる。



技術・研究分野 | 技術 | 奨励賞(審査委員長賞)

040

丸太打設液状化対策&カーボンストック(LP-LiC)工法

飛鳥建設株式会社、兼松日産農林株式会社、昭和マテリアル株式会社

概要

本技術は、丸太を地中に大量に打設することで、地震によって生じる液状化被害の防止と地球温暖化緩和を同時に実現するものです。液状化現象は、地下水が浅く緩い砂地盤で地震時に生じる現象です。丸太を地盤に打設することで緩い砂地盤を密実にして、液状化を防ぎます。液状化の生じる地盤は地下水位が浅いため、そこに打設した丸太は地下水位以下に位置することとなり、そこには空気がないので腐朽等の生物劣化を生じることがなく、地中で半永久的に健全な状態を維持します。このため、光合成により大気中から二酸化炭素を吸収し、木材に蓄積された炭素を地中に長期貯蔵することが可能になり、温室効果ガス削減に貢献します。丸太に貯蔵された炭素貯蔵量は絶大で、工事によって排出される二酸化炭素量に比べて遥かに大きく、工事の実施自体が温室効果ガスの削減に貢献していきます。

◆http://www.tobi-tech.com/tech/carbon_stock.htm

仕様:最大深度12m、丸太末口径13~18cm、丸太長さ6m以下

価格:100㎡の改良で200~400万円(地盤による)

入手先:飛鳥建設株式会社

評価ポイント 昔から木杭はあったが、それを科学的に証明し現代構法に活かせるようにした点は、防災意識が高まる現在において改めて社会的インパクトが大きい。木材学会、土木学会、森林学会が協力した点も評価に値する。